

国の信用を守り、
希望ある社会を次世代に引き継ぐ。



財務省

設立：1869年（明治2年）

職員数：約1,800人（本省）

HP: <https://www.mof.go.jp/index.htm>



財務省の使命

納税者としての国民の視点に立ち、効率的かつ透明性の高い行政を行い、国の財務を総合的に管理運営することにより、広く国の信用を守り、健全で活力ある経済及び安心で豊かな社会を実現するとともに、世界経済の安定的発展に貢献して、希望ある社会を次世代に引き継ぐことが財務省の使命です。

財務省の主な業務

●国の予算の編成、決算の作成

社会保障、公共事業、教育、安全保障、食料の安定供給など国の政策実現の裏付けとなるのが予算です。各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。

●国債管理

税収等で賄えない歳出需要を賄うため、国債の発行または借入により資金調達を行っています。確実かつ円滑な国債発行により、資金を確実に調達するとともに、中長期的な調達コストを抑制するため国債管理政策を企画・立案し、執行しています。

●財政投融资

リスクが高く、民間では十分に対応できないものの、政策的必要性から資金供給を行うべき分野に対して、財投債の発行によって調達した資金などを財源として、長期・固定・低利の融資やリスクマネーの供給を行っています。

●国際通貨政策

外国為替市場、内外資金フローの把握・分析や外貨準備の管理などにより外国為替制度の運営に当たっているほか、G7、G20、国際通貨基金（IMF）関連の各種国際会議を通じて、国際金融システムの安定に向けた制度強化に関する国際的な取組に参画しています。

●開発援助政策

政府開発援助（ODA）の効率的・戦略的な活用、円借款、国際協力銀行、国際開発金融機関（MDBs）を通じた支援、地球環境問題、債務問題への取組など、開発途上国における安定的な経済社会の発展に役立つ資金協力等を推進しています。

一般職採用職員のキャリアパス

●スペシャリストへの道

一般職採用職員は、財務省の所掌する幅広い行政分野のうち特定分野の専門性を有するスペシャリストとしての活躍が期待されます。大卒の場合、採用後概ね7、8年間は複数の部局を異動しながら幅広く経験を積み、係長級昇任の段階で、希望や適性に基づき自身の専門分野が定まるのが一般的です。

●幅広い活躍のフィールド

財務省職員が活躍するフィールドは霞が関の本省を基本としつつも、若手のうちに行政執行の最前線である地方支分部局（財務局・税関）に出向する機会や、専門性を高めていく過程において業務上関連の深い他省庁・政府関連法人・国際機関等に出向する機会を得ることもできます。

先輩職員から国家公務員を目指すあなたへ

●平成28年度一般職大卒（行政区分）採用

私は入省後、官庁訪問でお世話になった大臣官房秘書課で人事に関する業務を2年間経験し、現在は主計局で農林水産分野の予算編成を担当しています。

予算編成業務では、相手省庁の予算要求の内容を丁寧に聴き取り、議論を尽くした上で査定を行います。私自身は農林水産分野に関する特別の知識経験があったわけではなく、勉強の毎日ですが、時に政策実施の現地に赴きながら、幅広い関係者との意見交換や議論を重ねる中で、国の政策立案に携わっているということを実感しています。

財務省は、国の資金の流れを通じてあらゆる分野の政策に関わることができるのが魅力です。若者からベテランまで一緒になって議論する機会など、自身の成長に繋がる環境にも恵まれています。まずは説明会で財務省の職員に会っていただき、財務省の雰囲気を感じてください。

問い合わせ先

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1

財務省大臣官房秘書課人事第一係

TEL：03-3581-4111（内線：5305）

Mail：jinjione@mof.go.jp